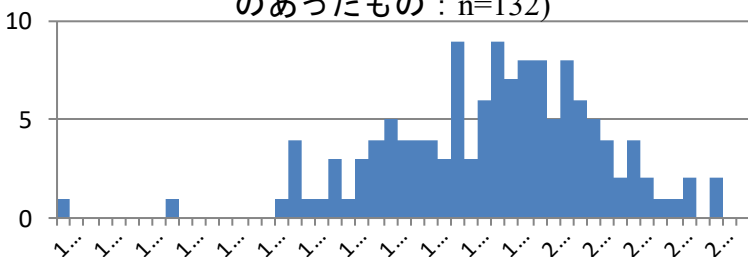


# 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)の発生状況に関する研究

研究分担者：国立感染症研究所感染症疫学センター 砂川富正

## 「診断基準・重症度分類策定・改訂のための疫学調査」

・特定疾患治療研究事業データの分析（全国）  
SSPE発症年（2003年度以降にデータ入力  
のあったもの：n=132）



同事業臨床調査個人票データベース（2016年5月時点）の管理本体における更新が2018年末まで滞っている

聞き取りによる、複数の新規発症例に関する情報あり

↓  
現在確認中

積極的症例探査の実施により下記調査の更新を実施予定（2019年度）

（右図：結果は暫定）

沖縄県で流行時の推計麻疹患者数・SSPE発症者数：

1990年：16,500人・9人

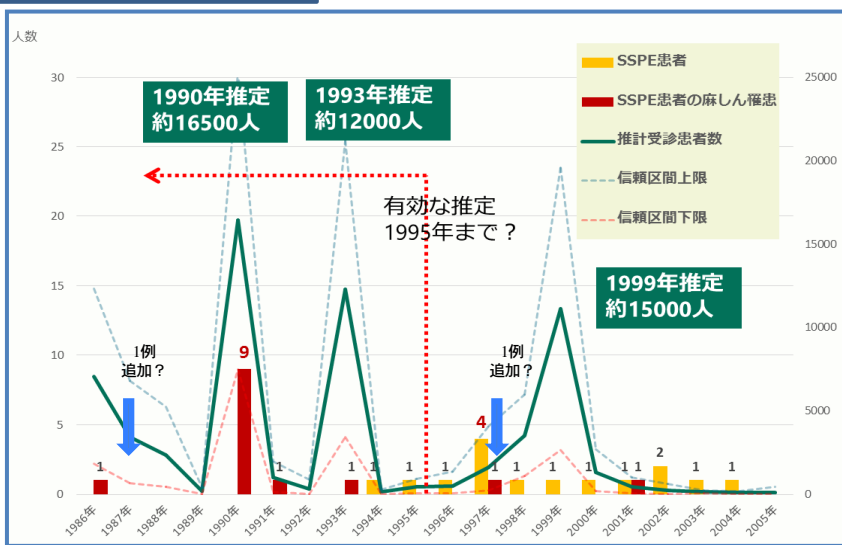
（10万人当たり**54.5人**）

・・・麻疹1,833人にSSPE1人の発症

1993年：12,000人・1人

（10万人当たり**8.33人**）

・・・麻疹12,000人にSSPE1人の発症



## 解説

- SSPE患者発症について、特定疾患治療研究事業データでの監視継続以外に、他の情報源も含めた把握の実施・・・**麻疹排除以降も数十年に渡り継続的に観察する必要**
- 沖縄県における麻疹患者からのSSPE発症割合の分析については、症例に関する情報収集の感度が保たれているかどうか、その検証方法について協議中。精査の上、**流行ごとの分析を実施し、流行ごとに発生頻度が異なる要因の分析も実施予定**